

吉川さおり 7月号



年金制度改革は、5年に一度の財政検証の結果を踏まえて行われています。今年も財政検証の結果が示され、来年は法改正が

予定されることとなります。厚生労働省は7月3日、公的年金の財政をチェックし、将来の給付水準を見通す財政検証の結果を公表しました。財政検証は、物価や賃金の上昇率、労働力人口の変化や経済成長の見込みに応じ、年金財政が維持できるかチェックするものですが、現役世代の手取り平均収入に対する年金の給付水準を表す所得代替率は、最近の経済情勢が続くと仮定した場合、2057年度に現在より2割近く下がることとなります。これは、国民年金の給付減が主因で、底上げが急務となっています。

一方で、焦点だった国民年金の保険料の納付期間を40年から45年に延長する案は見送られることとなり、当面の加入者負担増は回避されることとなりますが、今年の5月23日には、経済財政諮問会議の場で高齢者の定義を5歳引き上げて70歳に延ばすという議論も出ていますので、これらの動きと無縁であるとは言えません。安心して年を重ねることのできる社会を作るために、これらの動向を注視し、必要な議論を提起していきたいと考えています。



森嶋会長「通魂之塔」献花

沖縄県支部協議会では七月四日〜六日まで、中央協議会の森嶋正治会長の来県に合わせて、幹事会メンバーを中心に独自の平和行動を展開した。初日は沖縄戦の終焉の地、摩文仁で「通魂之塔」、多くの遺骨が眠る「魂魄之塔」に献花を行い、そして「沖縄県平和祈念資料館」を訪れ、忌まわしい戦争を再び起こさない「不戦」を誓った。

二日目午前九時から、沖縄県庁で知事との面談が初めて叶った。米軍兵士による少女暴行事件について、沖縄県に通報がなされなかったことについては、玉城デニー知事は、関係省庁へ抗議と申し入れを行ったことや、通報体制の見直しなど多くの疑問や不信感を抱いている事などを述べた。玉城デニー知事からは、かつて衆議院議員の頃にNTT労組から多くの支援をいただいたことに感謝と、NTT労組の「望年会」に参加した思い出を懐かしく語られた。

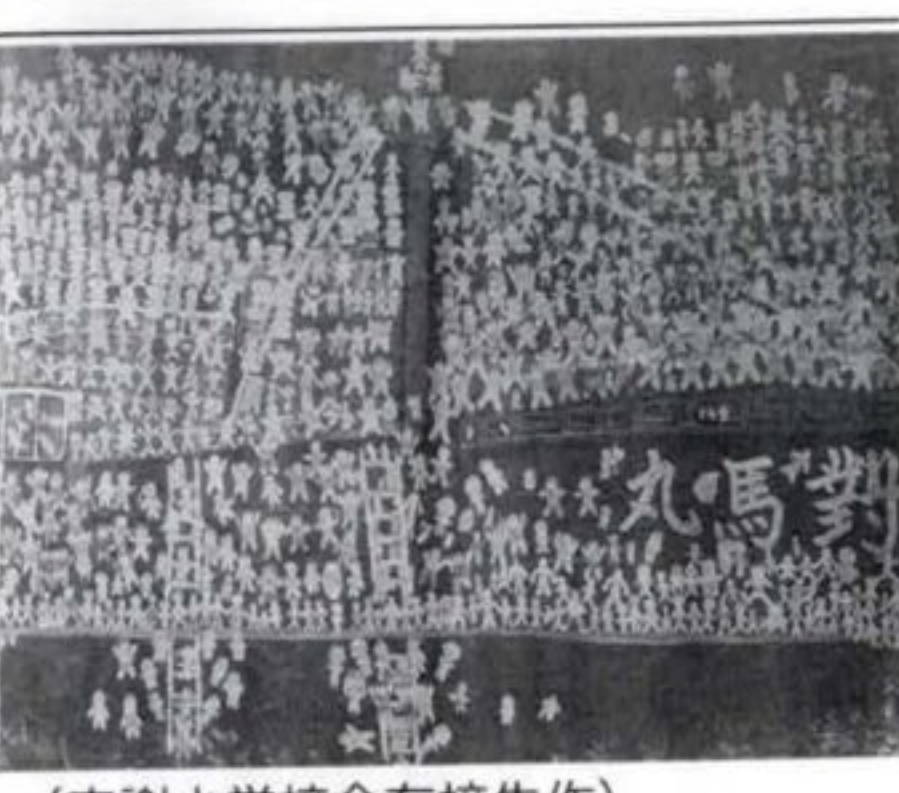
二日目、午前10時からは対馬丸撃沈事件の生存者の一人、退職者の会の照屋恒さん(八四歳)の講演会を「対馬丸記念館」で開催。四歳のとき、母と姉と一緒に「対馬丸」に乗船し、母と姉を失った経験や、母と姉を失った経緯を語っていた。漁船に救助され、その後、鹿児島、大阪、宮崎と転々とし、戦後は祖父母に育てられたが、父親はシベリアで亡くなり、家族全員を失ったこと。対馬丸で助かった子として声を掛け

支部協だより

ちやしがんじゅう

第233号

発行所
NTT労組退職者の会
沖縄県支部協議会
沖縄県浦添市城間4-35-1
NTT城間ビル7F
TEL.098-870-7101
FAX.098-875-7450
発行責任者
会長 金城 章



対馬丸船上(安謝小学校全在校生作)



講師 前泊博盛教授

午後三時から各地区協会の代表者を含めて、沖縄国際大学の前泊博盛教授による「沖縄の現状と課題」について講演会を開催。冒頭、米軍兵士に



対馬丸記念館にて 照屋 恒

よる暴行事件における通報体制の問題点について、容疑者の身柄も引き渡しができず事件の発表もされないというのは、管轄する県知事が三か月近くも知らされていないのは県民を守る立場からすれば異常である。ほかにも明らかになつていない事件もあるかも知れないと疑問を呈した。米軍基地を抱える他の国からすれば身柄拘束も米軍に預けることは、もはや日本は捜査権を放棄しているに等しいと述べた。

そして県議選の投票率四五%は、県民の県政に対する期待感が薄くなつてきたのではないかと危機感を持つ。

核兵器の沖縄配備の危険性として、①辺野古弾薬庫、嘉手納弾薬庫新設、自衛隊弾薬庫増設がある。②普天間基地にも新しい施設が出来ている。③核基地となれば「沖縄は消耗品」と化する。

辺野古新基地建設については①県外のスーパーゼネコンが受注している。二兆円を超える見込みであるが、沖縄県に落ちる金額は一〇%程度ぐらい。②次期総理と言われている石破氏も利権が問題なのでいまさら埋め立てを止めることは不可能だと言っている。③翁長前知事は本当に辺野古



辺野古新基地建設反対統一行動

新基地反対だったのか、玉城県政になってから辺野古の埋め立てが加速している？ など懐疑的な見方を示した。

最終日は、バスをチャーターし「平和行動の取組み」としてオール沖縄会議の「辺野古新基地建設反対」統一行動に会員・森嶋会長と共に参加をした。猛暑のなか県内各地から集まった二二〇〇人の参加者、メインゲートから新たな出入り口となったゲートに向かつて「人間の鎖」「辺野古に基地はいらない」「米兵による女性への性的暴行事件」などの抗議が行われた。また車中では、退職者の会の現状と課題、会員同士の交流も深める事が出来た。今回は自主的に参加した会員を含めて約五〇名余りの会員が参加し、「暑い夏・怒りの平和行動」を締めくくった。猛暑の中での参加、多くの女性会員の参加。あらためて感謝です。お疲れ様でした。

支部協議会幹事会一同

前泊教授の講演と反戦平和

八重山地区協議会

副会長 大 政司

七月五、六日退職者の会の講演、辺野古の新基地建設反対の抗議行動に事務局局長高那

と一緒に参加した。森嶋会長、金城会長より退職者の会の高齢化と災害時の安否確認調査の取り組みの説明があった。

沖繩国際大学前泊教授より、新基地建設に関わる現状を大胆な発想と新基地建設工事において利権が絡んでいることとの説明を受けた。

二日目は、退職者の仲間と共に辺野古へ行き、新基地建設反対の抗議行動へ参加。日本政府の台湾有事に対応する姿勢が今まで基地の無い石垣島、与那国島に自衛隊基地が建設された。私たちは反戦平和を求め、これからも行動を続けていこう。

県民を愚弄する岸田政権

北部地区協議会

幹事 当山清治

七月六日オール沖縄会議は、第四三回県民大行動を辺野古キャンプシュワブゲート前で開催した。辺野古新基地建設に反対する二二〇〇人が参加し、抗議の声を上げた。

昨年十二月許し難い凶悪事件が起こり、六月二五日マスクミが報道するまで、半年も政府は沖縄県に連絡せず隠蔽していた。基地があるが故の事件。日米同盟を最優先し、沖縄県

民をないがしろにする日米両政府に怒りの声が集まった。

六月の県議会選挙の結果、慰霊の日の岸田首相の挨拶を思い起こすと怒りが収まらない。県民を愚弄した岸田政権の対応、大浦湾側工事着工反対の声をこれからも上げていく。

大きく反対の声をあげる

宮古地区協議会

会長 下里茂博

今回、宮古から私と副会長の奥平功が参加した。那覇から貸切バスで約三〇名、女性会員の参加者が多かった。

辺野古に二〇時三〇分に到着、多くの人たちが道路の両側に座り込みをした。辺野古新基地を取り囲む「人間の鎖」があり、その後、全体集会。次々と弁士が新基地建設反対を訴えた。炎天下で日陰を探して座り、じつくりと多くの弁士の声を聞いた。

特に米軍人による女性暴行事件について、元参議院議員の糸数慶子さんは一九九五年の少女暴行事件を始めとして、これまでの暴行事件を取り上げて、今回の事件は絶対に許してはならないと強く訴えた。今後とも辺野古新基地建設反対の行動を強化する必要がある。

ワジワジー！

本村邦子

辺野古基地反対二〇年集會、皆様と会える喜びもある中、天気快晴。バスは出発した。オール沖縄デニー知事与党選挙敗北後、私達ウチナンチュは情けなく腹が立ち、老年最後の辺野古抵抗集會、与那嶺米子さんとワジワジーしながら参加した。子や孫に美しい沖縄を遺す為二〇年反対し座り続けたオジーオバも三世へ逝った経過を聞き、故元翁長知事の「ウチナンチュをバカにしないで」の反対声明挨拶時の顔と声を思い出しつつ、悔しい思いで胸が一杯になり涙した。

戦後若き頃貧しく、交通手段もなく、外地生まれで小さい島沖縄も知らず、初めて大浦湾を見たとき鳥肌が立った。大自然の神々しき、生物の棲む大浦湾がどっしりと沖縄にあった。この海にコンクリートや南部戦跡の土砂を埋める。また、殺し合いの戦争準備をする基地、沖縄人でも世界の良識人でも絶対許さない。今、沖縄は戦後でなく戦前になりつつある。どこの世界でも大が小を押しつづ論理。チルダイしながら、次は私も三世逝きのバスに乗りかけている。

「全国交流集会」に参加して

目的は認識の共有

八重山地区協議会
白道直行

去った六月二十七日～二十八日に東京都で開催の「全国交流集会」に参加しました。

本集会の目的は「全国総会に向けての認識の共有」です。

森嶋・中央協会長より能登半島の被災者支援カンパ、会員減少問題、ジェンダー平等社会に向けてのあいさつ、川辺・中央協事務局長から「退職者の会のあゆみと当面の課題」の提起がありました。

また中北・中央大学教授の「日本政治の現在と野党の役割」の講演は、鋭い切り口で感心・納得です。「どうした連合、頑張れ立憲民主」。

集会二日目は分散会で、テーマは「会と会員のコミュニケーションの充実」です。いずれの支部協でも活性化に向けて苦慮している様子です。その中で「地引き網漁を体験する」取組みで孫の同伴も可、としたら多くの会員の参加があったそうです。

沖縄で三世代の同居は珍しい。【孫を連れての参加】にすれば多くの会員が参加出来る、会員とのコミュニケーション

の活性化に繋がるかも。多くの学びとキッカケを頂いた今回の全国交流集会に感謝です。

初参加

宮古地区協議会
松原徹夫

初日は森嶋中央協会長の挨拶で始まり、会員数二二五〇〇〇人で退会者五〇〇〇〇人、新期二〇〇〇〇人と、毎年三〇〇〇〇人の減だと言うことです。

その後、組織内議員の話があり、今年度NTT法の一部改正、ユニバーサルサービスの見直し等の改正がありました。次年度が本格的な見直しが行なわれる見通しだそうです。

その後、全国の会員の皆様と夕食会があり、楽しい一時を過ごしました。

二日目は、会と会員のコミュニケーションの充実をテーマに、グループ毎に分かれ各地区の課題等が話し合われました。

最後に全国交流集会は①特定の会員しか行事に参加しない ②女性の参加が少ない等の話がありました。このまとめをもとに、宮古地区協でも取り組みを進めていきたいと思えます。

大阪支部協主催「女性の会・講演会」に参加

会長 金城 章

七月一八日から一九日まで大阪支部協主催「女性の会・講演会」に沖縄県支部協から五名が参加し、「沖縄の現状・課題」と「沖縄の文化」について講演会を行いました。

大阪支部協の女性会員を中心に、関西の五支部協を含む約六五名規模で行われました。

喜久里事務局長が出発前にコロナ感染のため、ピンチヒッターとして金城が急遽出席し、「沖縄の現状・課題」について講演会を行いました。

①普天間基地返還を巡る動き、辺野古新基地建設の概要について時系列に示しながら、国が初の「代執行」を実施したこと。②今回発覚した女性暴行事件の問題点。③他国と比較した日米地位協定などの問題点・課題について講演を行いました。

続いて、大城文子幹事、玉寄初子幹事、与儀寿美子幹事から ①復帰後も変わらぬ沖縄の現状 ②代執行の問題点 ③有機フッ素化合物「PFAS」の水質汚染 ④宮古島地下水汚染 ⑤宮古島への自衛隊基地の配備・増強に伴う

現状の報告と課題を提起しました。命に係る報告に思わず涙を浮かべ感想を述べる会員もおられました。

次に松田副会長による「沖縄の伝統文化」である古典舞踊と空手の歴史の講演を行いました。琉球舞踊、三味線演奏で会場は大盛況。最後は参加者全員で「安里屋ユンタ」を合唱しました。

その後、大阪支部協との懇親会では講演会の成功を踏まえて、今後も相互に交流を継続していきたいとの意見が出され、双方で前向きに検討していくことを確認いたしました。

最終日は大阪支部協の皆さんの案内で、「大阪空襲を語り継ぐ平和ミュージアム」の大阪国際平和センターの見学を行いました。大阪空襲の実相や大阪と戦争の関係を通して戦争の悲惨さ、戦争の背景をあらためて学びました。歴史に学ぶことは大変大事なことでと痛感しました。そして何よりも大阪支部協の皆さんの熱心な取り組みと、私達へのおもてなし、温かく寄り添う気持ちに大変感動いたしました。

大阪支部協協議会と沖縄県支部協協議会の女性会員の交流会に参加いたしました。私は「沖縄の文化」について講演しました。

「沖縄の文化」を伝える

副会長 松田竹徳

沖縄の武術、琉球舞踊、琉球古典音楽、琉球民謡等について資料に基づいて詳しく説明しました。

その後、祝儀舞踊「かぎやで風節」、地域に伝わる民族舞踊「湊くり節」を披露し、最後に「安里屋ユンタ」を皆で歌い閉会した。今回の交流会では関西の各支部協の女性会員も参加して有意義な交流会になりました。

女性交流会は大きな歓待を受け感激しました。大阪支部協協議会の皆様ありがとうございました。

危機感を報告

幹事 大城文子

沖縄の一部地域ではPFASで汚染された水道水を飲まざるを得ない。宮古島市に新設された自衛隊基地は有事から離島を守る理由でミサイル基地化が予想され、おまけに九州への避難計画が進む様子が

「もはや戦前」と危機感。辺野古行動は、これ以上の米軍基地、米軍や自衛隊による県民の犠牲は許せない、と言う県民の願いを込めた行動。喜久里事務局長が諸般の事情で急ぎよ不参加となり女性幹事三名はこのような点を精一杯報告しました。さる大戦で七次に及ぶ空襲で多くの犠牲を被った大阪を知り、さんしんを楽しむ皆さんと交流でき有意義でした。「ぼちぼちやね」と沖縄の事情に関心をもって戴けるとまた嬉しい限りです。



雨・風にも負けず グラウンドゴルフ大会開催

7月25日に悪天候のなか「2024年グラウンドゴルフ大会」を開催しました。当日は台風3号が発生しており宮古・八重山地域は暴風域となり、前日まで天気は大丈夫かと気を揉み、やきもきしながら準備を進める事となりました。当日は台風の影響で雨・風が強く心配しつつも50名余りの参加者で、グラウンドゴルフ大会を盛り上げる事ができました。でも、コロナに感染で（そういう私も先週までコロナで外出禁止）当日参加が出来ずにいた会員、次回をお楽しみに。

若干準備等で開始時間が遅れたものの、開会の挨拶から宮城理文競技委員長によるルール説明、集合写真撮影後、ゲームスタートです。各チームでホールインワンが出たときは大きな声で歓喜の叫び、各自真剣な顔でボールをホールポストへと意外と簡単そうなゲームながら難しい顔つき、そばで見ていると案外楽しいものです。

表彰式には会員の玉那覇剛さんからマンゴー（優勝者

へ）、分会からの映画チケット、こくみん共済（COOP）・労金浦添支店等からの寄贈もあり、参加者全員が賞品を獲得。遊びの中から会員同士の交流・懇親を深めたいと思えます。悪天候にも関わらず参加いただき有難うございました。

巷では、コロナが蔓延しつつあります、まだまだ続く猛暑、くれぐれも体調管理には気を付けて下さい。

事務局長 喜久里艶子



全員で準備体操

優勝者



玉那覇 剛

宮城 悦子

7月25日、浦添市屋内運動場において、退職者の会の「グラウンドゴルフ大会」がありました。50名余りの参加者で和気あいあいとした雰囲気ながら、ホールインワン・珍プレーなど続出しました。あの頃は若かったのに、今では体形も変わり足腰も弱り、「アマヤミークマヤミー」するけど口だけは元気です。と自慢する先輩もいました。これからは体を動かし、ユンタク（コミュニケーション）して多めに笑いましょ。実行委員のみなさんお疲れ様でした。

東江晃男



競技委員長 宮城 理文



NTT労組退職者の会
2024グラウンドゴルフ大会

